

ほぞんばん
保存版

じしゅがくしゅう てび 自主学習の手引き

おおさかしりつひらのしょうがっこう
大阪市立平野小学校

れいわ ねんど
令和8(2026)年度

1. 自主学習について

自主学習は単なる宿題の延長ではなく、お子様が「自分で考えて学ぶ」力を養う大切なステップです。これからの時代に求められる学力は、与えられた課題をこなす力だけではありません。自主学習を通じて「自分は何がわからないのか」「自分はなにに興味をもっているのか」を発見し、それを、「どう学ぶか」を自分で決める、この試行錯誤のプロセスこそが一生モノの財産になる「主体性」を養います。

ご家庭では、完璧な正解を求める必要はありません。まずは、「何かおもしろいこと見つけた?」「わからないことはない?」「どんなことを調べてみたい?」等、お子様の興味に寄り添う声かけから始めてもらえたらと思います。自分で決めて取り組んだ小さな成功体験の積み重ねが、学習への自信と意欲につながります。

2. 家庭における学習について

自主学習の習慣を定着させるためには、学校だけでなくお子様が一番安心できる環境である家庭との連携・協力が不可欠です。

家庭学習を行い、家庭に見守られ励まされることで、お子様は自分らしさを大切にすることや努力をすることに自信をもてるようになります。また、お子様がどんなことに興味をもっているのかを知ることは保護者としてとても興味深いものです。共に考えることで、家族での楽しみも増えるでしょう。お子様にとっては、自分の考えたことを聞いてもらえることで家族である身近な人が自分の考えをどう受け止め、どう考えているかを知る経験は、コミュニケーション能力を育むことにもつながります。さらに、興味をもったことから自分の将来やあこがれの仕事について夢がふくらむことも想像できます。

3. 家庭での学習の仕方

- ①学校からの「宿題」を最初にします。
 - ②「自主学習の手引き」の中からやることを選んでします。
 - ③宿題と自主学習が終わったら次の日の時間割を合わせます。
- ※お子様のがんばりを大いにほめてあげてください。(自信アップ!やる気アップ!)
- 特に低学年は、学習中できる限り近くで見守ってあげてください。

4. 自主学習の時間のめやす(宿題以外の時間です)

めやすは(学年×10分)			
ねんせい 1年生	ぶん 10分	ねんせい 2年生	ぶん 20分
ねんせい 3年生	ぶん 30分	ねんせい 4年生	ぶん 40分
ねんせい 5年生	ぶん 50分	ねんせい 6年生	ぶん 60分

5. 家庭学習で大切にしたいこと

①家庭学習時間の確保

習い事や塾などで、忙しい場合もあると思います。また、保護者の皆様も、仕事などで、なかなか時間が作れない方もいらっしゃると思います。短い時間でも構いませんので、「何時から何時まで勉強する」ということを、お子様とよく話し合って時間設定をし、学習に取り組ませてください。

②家庭での学習環境作り

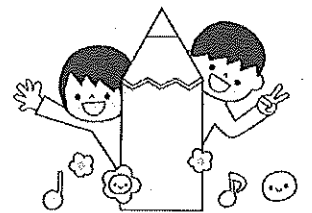
テレビを見ながら学習をしたり、机の周りに気が散るものがあつたりすると集中できず、学習の効果が上がりません。落ち着いた学習環境になるよう、ご家庭での工夫をお願いします。

③ほめる・伸ばす

子どもの学習を見守り、がんばりをほめる。そして、言葉や文字で伝える。そうすることで、子どもは努力する自分に自信をもち、どんどんやる気を出します。子どもの可能性は無限大です。お子様の様子を見ながらできる限り、応援してあげてください。

6. 規則正しい生活を

- ・家に帰ったら、まず宿題(学習)に取り組ませるか、いつ学習をするのか決めてさせるようにしてください。
- ・寝る前にお子さん自身で、次の日の学習の準備をさせてください。低学年では、一緒に横について準備を手伝ってあげてください。
- ・早寝・早起きをさせ、規則正しい生活習慣を身につけさせてください。
- ・朝食を毎日とることで、元氣な一日を過ごせます。必ず食べさせてください。
- ・遅刻をしないように、お子さんを送り出してください。
- ・テレビ・ゲームなどは、お子さんと話し合って時間を決めてください。



じしゅがくしゅうで できること

1 おんどく (こえを出してよみましょう)

○いま、べんきょうしているところを なんかいよむか きめて、こえをだして よみましよう。

○すらすらよめるように れんしゅうしましょう。

○できるだけ いえのひに きいてもらいましょう。

○よんだら、れんらくちょうに よんだしるしを かきましよう。

2 もじのれんしゅう

○ならったひらがな、カタカナ、かんじを、かきじゅんや 「とめ」「はね」「はらい」に きをつけて ノートにかきましよう。

3 にっき・さくぶん

○くつつきの 「は」「へ」「を」をつかって、ぶんをつくりましよう。

れい：「わたしは、こうえんで おにごっこを しました。」

○カタカナのことばや かんじをつかって、ぶんをつくりましよう

れい：「きのう わたしは、がっこうで アサガオを うえました。」

○きょう、たのしかったことや うれしかったことを、にっきにかきましよう

4 どくしよ

○がっこうや としょかんで ほんをかりて、よみましよう。

○えほんや ものがたりのほんなど、いろいろなしゅるいの ほんをよみましよう。

5 けいさん

○10までのかずを かくれんしゅうを しましよう。

○あわせて 10になるかずを かきましよう。

れい： (2と8、4と6)

○たしざんや ひきざんの けいさんを しましよう。



6 そのた

○いえにある もんだいしゅうや ドリルを してもよいです。

○このてびきに のっていない がくしゅうも、じぶんで すずんで かんがえましよう。

じしゅがくしゅうで できること

1 おんどく (こえをだしてよみましょう)

○いま、べんきょうしているところを 何回読むかきめて、声をだして読みましよう。
(気持ちをこめて、点と丸に気をつけて読む)

○できるだけ家のひにきいてもらいましよう。

○読んだら、連絡帳に読んだしるしを書きましよう。

2 かん字のれんしゅう

○ならったかん字を、書きじゅんに気をつけてノートに書きましよう。

○ならったかん字をつかったことばや文を書きましよう。

3 にっき・さくぶん

○ならったかん字をつかって、みじかい文を作りましよう。

○思ったことや気づいたことを入れて、あそんだことや楽しかったことを書きましよう。

○「 」を使って、友だちや家のひとのかいわ文 (話したこと) を入れた文章を書きましよう。

4 読書

○学校やとしょかんで本をかりて、読みましよう。

○ものがたりやいろいろなしゅるいの本を読みましよう。

5 けいさん

○たし算やひき算のひっ算のれんしゅうをしましよう。

○九九のあんしょうができるようにれんしゅうをしましよう。

○算数のもんだいを作ってみましよう。

(たし算、ひき算、かけ算になるもんだいを作りましよう)

○百ます計算れんしゅうをしましよう。

そのた

○家にあるもんだいしゅうやドリルをしてもよいです。

○このてびきにのっていないしゅうも、じぶんですずんでかんがえましよう。



いろいろな経験をし、興味や考えをもつ3年生

自分で考え、判断し、
理解する力の基礎を身につける4年生

自主学習で できること

1 音読 (声を出して読みましょう)

- 今、勉強しているところを何回読むか決めて、声を出して読みましょう。
(気持ちをこめて、聞いている人に分かりやすいように)
- できるだけ家の人に聞いてもらいましょう。
- 読んだら、連絡帳に読んだしるしを書きましょう。
- まだ、学習していないところを読んでもいいです。

2 漢字の練習・意味調べ

- 今までに勉強した漢字や習った漢字を、ノートに練習しましょう。
- 漢字ドリルの手本を見ながら「とめ」「はね」「はらい」に注意して、練習しましょう。
- 漢字を使った「じゅく語」や「短文」を書きましょう。
例:「旅」という字なら「旅行」のようなじゅく語で、
「駅」という字なら「平野駅で電車で乗る。」というような短文で書く。
- 「広い」←→「せまい」など反対の意味の言葉を調べて書きましょう。
- 「いとへん」の漢字など、同じ仲間の漢字をノートに書きましょう。
- 国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べ、ノートに意味を書きましょう。
- 四字熟語やことわざを調べ、ノートに意味を書きましょう。
- ローマ字をノートに書きましょう。

3 日記・作文

- その日の出来事や、最近の出来事について書きましょう。
- 題名をつけて、考えたこと調べたことなどを書きましょう。

4 読書

- 学校や図書館で本を借りて、読みましょう。
- いろいろな種類の本を読みましょう。

5 視写

- 教科書の文や詩、お話しなどをノートに書き写しましょう。
- 好きな言葉や文を、ノートに書き写しましょう。

<算数>

1 教科書やドリルの問題

- ノートを見直して、その日に勉強したところの問題を家でも練習しましょう。
- 問題をといたら丸つけをしましょう。
- 教科書やドリルの問題をくり返しましょう。まちがえたら、「どうしてまちがえたのか」「どこをまちがえたのか」を考えて、まちがえなくなるまでやり直しましょう。

2 プリントやテストの問題

- 今までに勉強したプリントやテストの問題を、もう一度といてみましょう。
- まちがえた問題は、何度もくり返し復習しましょう。

<社会・理科>

1 教科書を読む

- その日に、勉強したところや、次に勉強するところを読みましょう。

2 勉強に関係のあるところや「おもしろそうだな」と思ったことを図鑑や事典、

タブレットなどで調べましょう。

- ノートに書いたり、〇〇新聞にまとめたりする。

その他

- 家にある問題集やドリルをしてもよいです。
- この手引きにのっていない学習も、自分ですんで考えましょう。



しこうりょく はんだんりょく りかいりょく かいが ねんせい
思考力、判断力、理解力が開花する5年生

しょうらい もくてき ゆめ
将来の目的や夢をもち、
ちゅうがくせい じゅんび ねんせい
中学生になる準備をする6年生

じしゅがくしゅう 自主学習で できること

1 音読 (おんどく) (声をだして読みましよう)

- 今、勉強しているところを何回読むか自分で決めて、声を出して読みましよう。
(気持ちをこめて、聞いている人に分かりやすいように)
- できるだけ家の人に聞いてもらいましよう。
- 読んだら、連絡帳に読んだしるしを書きましよう。
- まだ、学習していないところを読んでもいいです。

2 漢字の練習・意味調べ (かんじ れんしゅう いみしら)

- 今までに勉強した漢字や習った漢字を、ノートに練習しましよう。
- 漢字ドリルの手本を見ながら「とめ」「はね」「はらい」に注意して、練習しましよう。
- 漢字を使った「じゅく語」や「短文」を書きましよう。
例:「旅」という字なら「旅行」のようなじゅく語で、「駅」という字なら「平野駅で電車で乗る。」というような短文で書く。
- 「広い」←→「せまい」など反対の意味の言葉を調べて書きましよう。
- 「いとへん」の漢字など、同じ仲間の漢字をノートに書きましよう。
- 国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べましよう。
調べたらノートに意味を書いておきましよう。

3 日記・作文 (にっき さくぶん)

- 意味調べをした熟語を使って短文を作る。
- 心に残った出来事に題名をつけて、習った漢字をたくさん使って書きましよう。
- ニュースや新聞記事の中から自分でテーマを決め、意見文を書いてみましよう。
(気になった新聞記事などは切り抜いて持っておく)

4 読書 (どくしょ)

○いろいろな種類の本を読みましよう。

5 視写 (ししや)

- 教科書の文や詩、お話などをノートに書き写しましよう。
- 文をかたまりごとに見て、ノートに書き写しましよう。
(慣れてきたら、一回で見るかたまりを長くしていきましよう。書き写すのが早くなりましよう。)

<算数>

1 授業で勉強した内容 (復習) (じょうぎょう べんきょう ないよう かくしゅう)

- その日に勉強したところの問題を、家でも練習しましよう。
- 教科書やドリルの問題をくり返しましよう。問題をといたら丸つけをしましよう。
- まちがえたら、「どうしてまちがえたのか」を考えて、まちがえなくなるまでやり置しましよう。

2 プリントやテストの問題 (プリントやテストの問題)

- 今までに勉強したプリントやテストの問題を、もう一度といてみましよう。
- まちがえた問題は、何度もくり返し復習しましよう。

<社会・理科>

1 授業で勉強した内容 (復習) (じょうぎょう べんきょう ないよう かくしゅう)

- 大事なところに線を引ながら、教科書や資料集をもう一度読んでみましよう。
- 大事な語句を中心に教科書の内容をまとめてみましよう。
- その日に、勉強したところや、今度勉強するところを読みましよう。

2 教科書の少し先の内容 (予習) (きょうかしょのすこしさきのないよう よしゅう)

- 声を出して教科書を読みましよう。
- 分からないことや興味のあることを図鑑や辞典、タブレットなどで調べましよう。

その他

- 家にある問題集やドリルをしてもよいです。
- この手引きにのっていない学習も、自分ですすんで考えましよう。

